

2021年2月期 通期決算説明資料

株式会社アルバイトタイムス

2021年6月30日



連結業績の概要

2020年3月1日～2021年2月28日

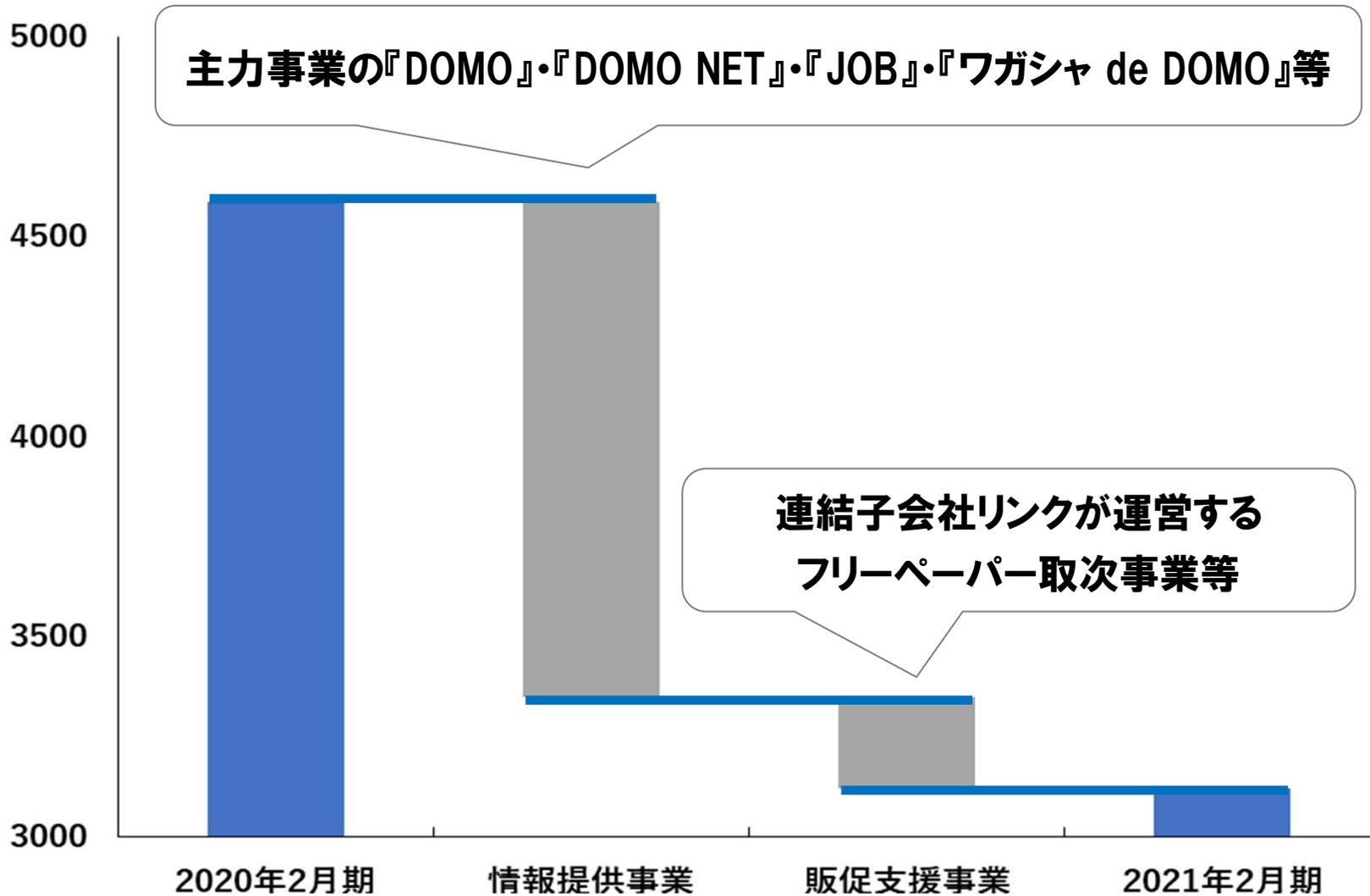


通期の業績(PL)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	2021年2月期		2020年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	3,100	100.0	4,550	100.0	△1,449	△31.9
売上原価	1,156	37.3	1,480	32.5	△323	△21.9
印刷費	277	8.9	478	10.5	△201	△42.0
労務費	172	5.6	196	4.3	△23	△11.9
その他売上原価	706	22.8	806	17.7	△99	△12.3
売上総利益	1,943	62.7	3,069	67.5	△1,125	△36.7
販管費	2,488	80.3	2,879	63.3	△390	△13.6
人件費	1,465	47.3	1,500	33.0	△34	△2.3
広告・販促費	398	12.9	581	12.8	△182	△31.4
流通費	98	3.2	204	4.5	△105	△51.9
その他販管費	527	17.0	594	13.1	△67	△11.3
営業利益	△545	△17.6	190	4.2	△735	—
経常利益	△518	△16.7	224	4.9	△742	—
税金等調整前	△562	△18.2	212	4.7	△775	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△500	△16.1	174	3.8	△675	—
EPS	△¥18.96		¥6.62			

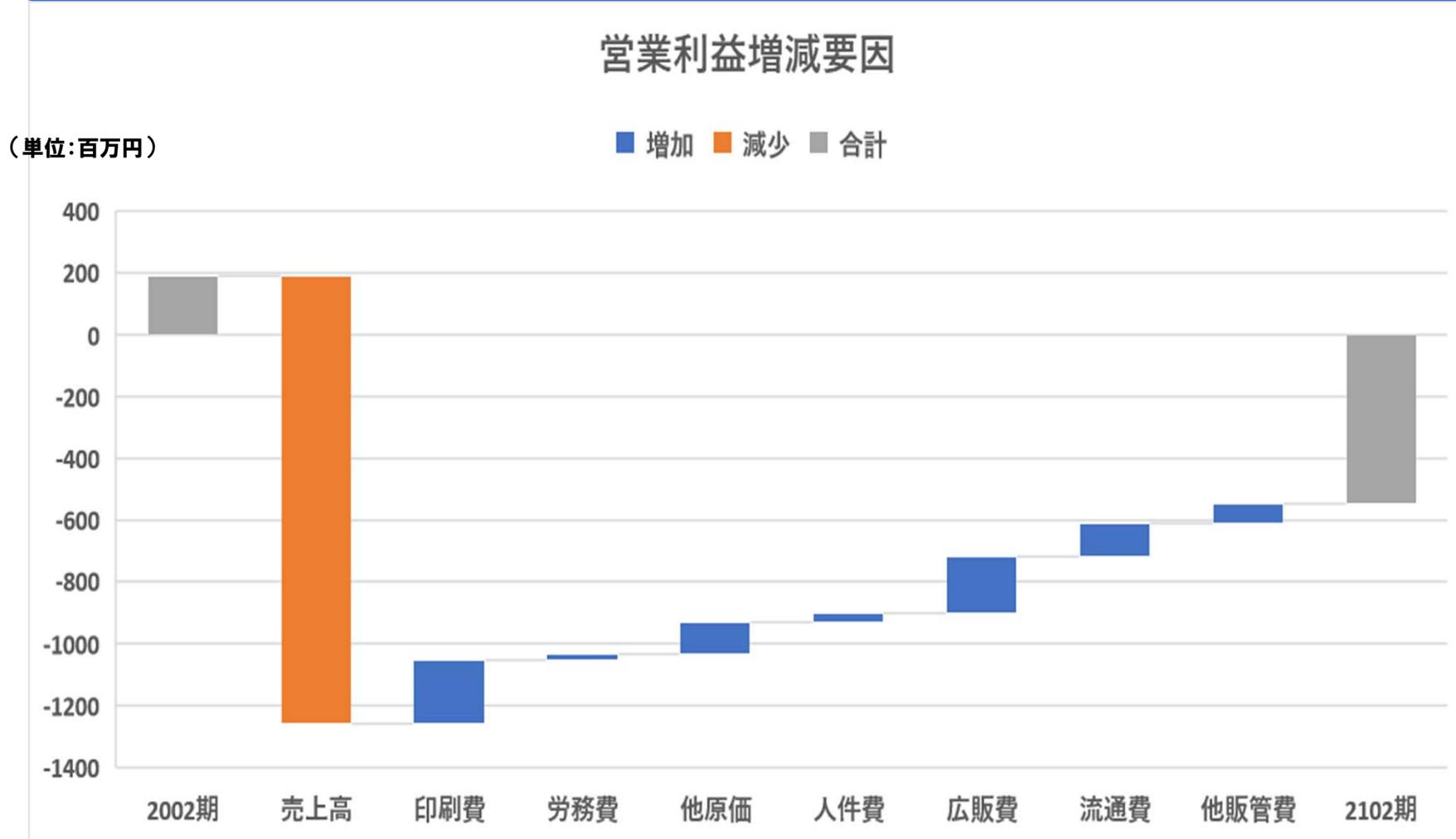
セグメント別売上高(内部取引消去前)

(単位:百万円)



営業利益の増減要因

新型コロナウイルス感染症拡大による売上の減少をコストで賄えず



当期末の業績(BS)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2021年2月末		2020年2月末		前期末比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
	流動資産	3,991	81.6	4,811	85.3	△819	△17.0
	固定資産	898	18.4	828	14.7	69	8.4
	資産合計	4,890	100.0	5,639	100.0	△749	△13.3
	流動負債	553	11.3	629	11.2	△75	△12.1
	固定負債	15	0.3	—	—	15	—
	負債合計	569	11.6	629	11.2	△60	△9.6
	資本金	455	9.3	455	8.1	—	—
	資本剰余金	540	11.0	540	9.6	—	—
	利益剰余金	4,399	90.0	5,085	90.2	△685	△13.5
	自己株式	△1,076	△22.0	△1,076	△19.1	—	—
	株主資本	4,320	88.3	5,005	88.8	△685	△13.7
	その他包括利益累計額	0	0.0	4	0.1	△4	△87.9
	純資産	4,320	88.4	5,010	88.8	△689	△13.8
	負債・純資産合計	4,890	100.0	5,639	100.0	△749	△13.3
	BPS	¥163.70		¥189.82			

当期累計の業績(CF)

金額・増減額:百万円	2021年2月期	2020年2月期	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動CF	△437	44	△481
投資活動CF	△51	△66	14
財務活動CF	△187	△183	△4
換算差額	0	△0	0
増減額	△676	△206	△470
期首残高	4,164	4,371	
期末残高	3,488	4,164	

➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、税金等調整前当期純損失が562百万円、未払債務の減少額が77百万円となった一方で、売上債権の減少額が105百万円、法人税等の還付による収入が67百万円等となったためです。

➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、無形固定資産の取得による支出が65百万円、関係会社への貸付金回収による収入が20百万円等となったためです。

➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

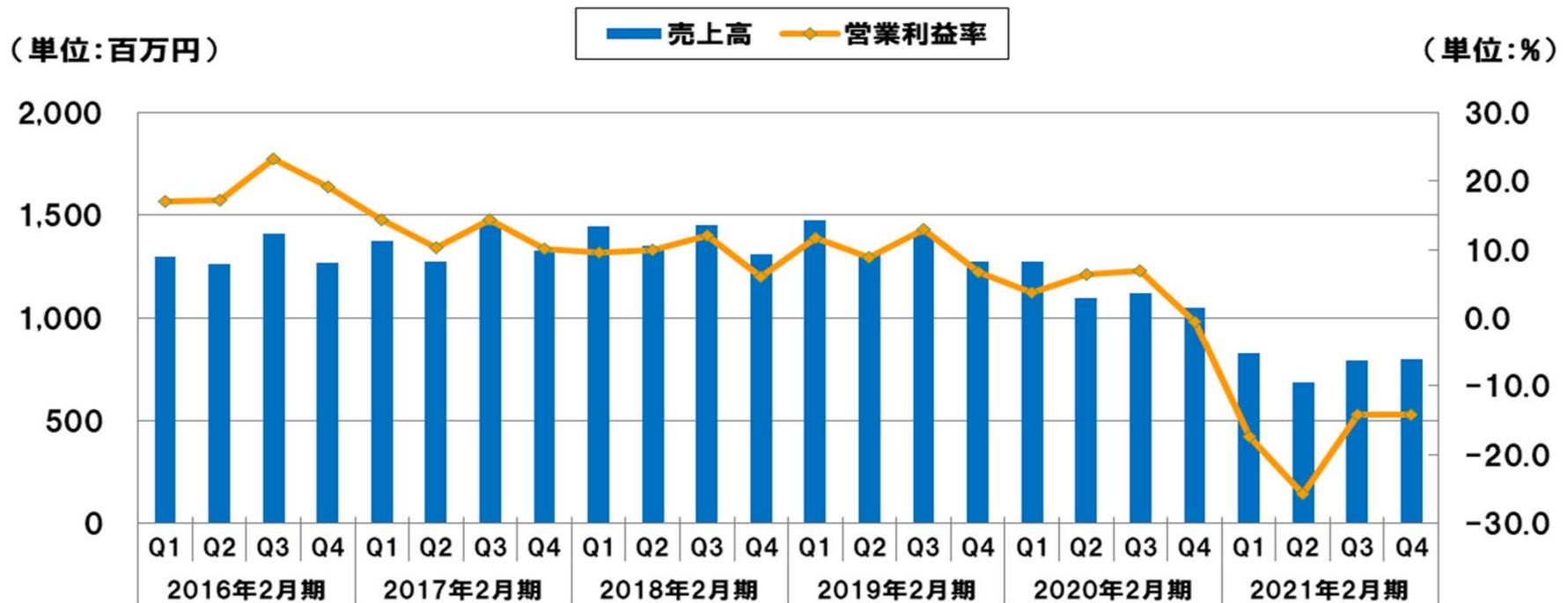
- ◆ 配当金の支払額が183百万円等となったためです。

当期の総括

2020年3月1日～2021年2月28日



経営環境と業績推移



➤ 取り巻く環境と経営のあゆみ

- ◆ リーマン・ショック後、国内景気回復の中で基盤事業のサービス強化および収益の安定化を推進し、安定的な利益を計上。当期はコロナ感染症拡大による影響により採用環境が悪化。コスト圧縮を図るも売上の減少幅が大きく営業赤字を計上。
- ◆ 当社は、新型コロナウイルス感染症拡大により雇用環境が悪化する中、大きな影響を受けていない『ワガシャ de DOMO』の拡販に注力することや費用対効果を踏まえたコストコントロールを同時に行っていました。また、非接触型のインサイドセールスへの転換や多様化する人材サービスを踏まえたビジネスモデルの変革等、新型コロナウイルス感染症拡大終息後の雇用環境の回復時に向け、当社の再成長に向けた準備を着実に推進いたしました。

事業環境

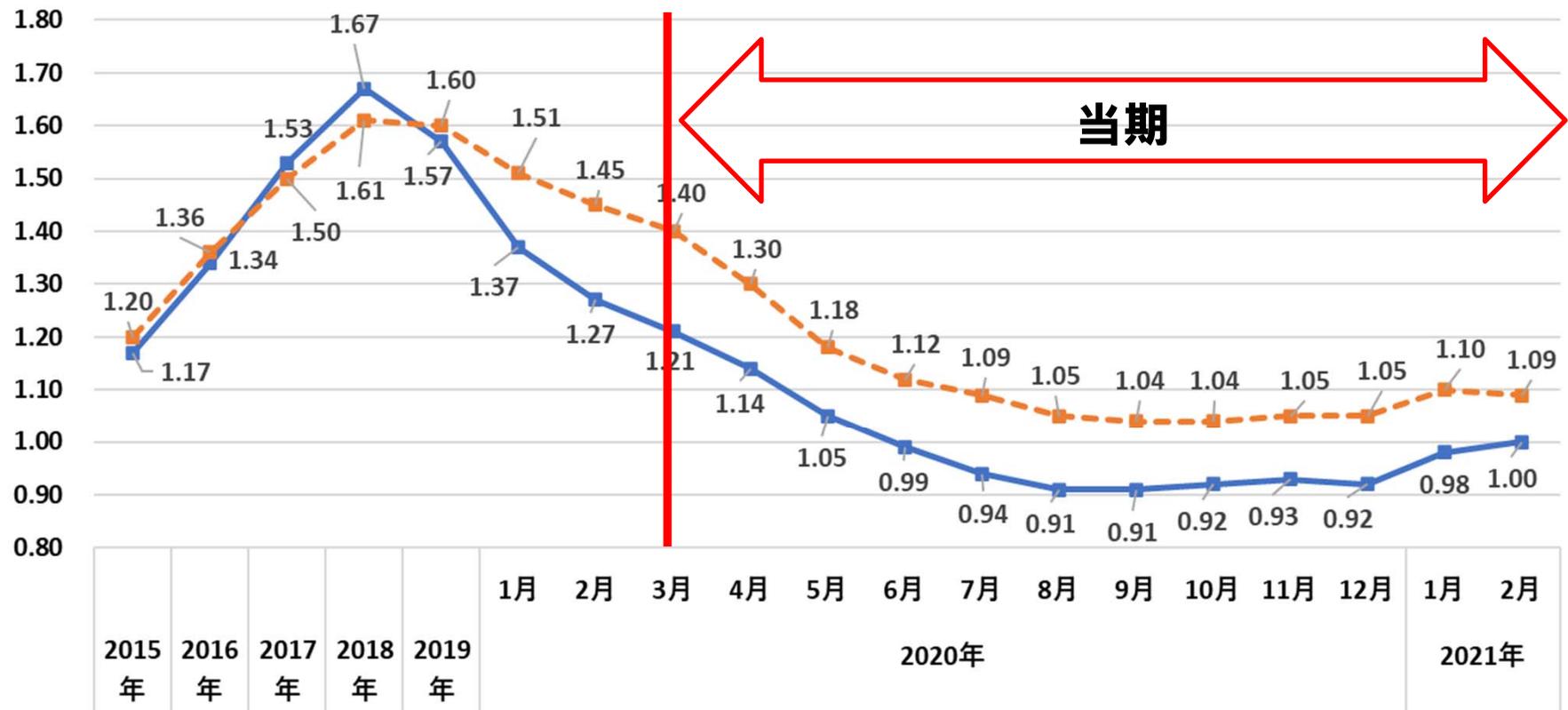
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により雇用環境は急激な悪化

有効求人倍率推移

(単位:倍)

■ 静岡県 - - 全国

出所: 静岡労働局 雇用労働統計より当社作成



重点施策

「ワガシャ de DOMO」の機能追加及び拡販による売上増
(売上高7.93億円、前期比96.8%増)

ワガシャ  DOMO!

自社専用の採用サイトを簡単に作成できる
採用管理システム(ATS)

- 自社メディアとのコネクト追加によるオプションサービスの開発・販売
- 協業パートナーとの業務提携による販路拡大

自社正社員サイト「JOB」・新卒サイト「TSUNORU」のコネクト開始により、正社員、新卒学生領域へ拡大

正社員向け転職情報サイト

JOB

中堅・中小企業向新卒求人情報サイト

 ツノル!! 学生の就職
TSUNORU



重点施策

売上減少に伴う徹底的なコストの見直し

- 紙媒体コストである印刷費(期初計画比39.3%減、前期比42.0%減)・流通費(期初計画比21.1%減、前期比51.9%減)圧縮
- 求人情報サイトに係る広告宣伝費(期初計画比45.1%減、前期比31.4%減)圧縮

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	2021年 2月期	期初 計画額	期初計画比		前期実績	前年同期比	
	金額	金額	乖離額	乖離率	金額	増減額	増減率
売上高	3,100	4,756	△1,656	△34.8	4,550	△1,449	△31.9
売上原価	1,156	1,510	△353	△23.4	1,480	△323	△21.9
印刷費	277	456	△179	△39.3	478	△201	△42.0
労務費	172	214	△41	△19.5	196	△23	△11.9
その他売上原価	706	838	△132	△15.7	806	△99	△12.3
販管費	2,488	3,034	△545	△18.0	2,879	△390	△13.6
人件費	1,465	1,566	△101	△6.5	1,500	△34	△2.3
広告・販促費	398	726	△328	△45.1	581	△182	△31.4
流通費	98	124	△26	△21.1	204	△105	△51.9
その他販管費	527	616	△88	△14.4	594	△67	△11.3
総コスト	3,645	4,544	△898	△19.8	4,360	△714	△16.4



次期の方針、連結業績予想

2021年3月1日～2022年2月28日



事業環境

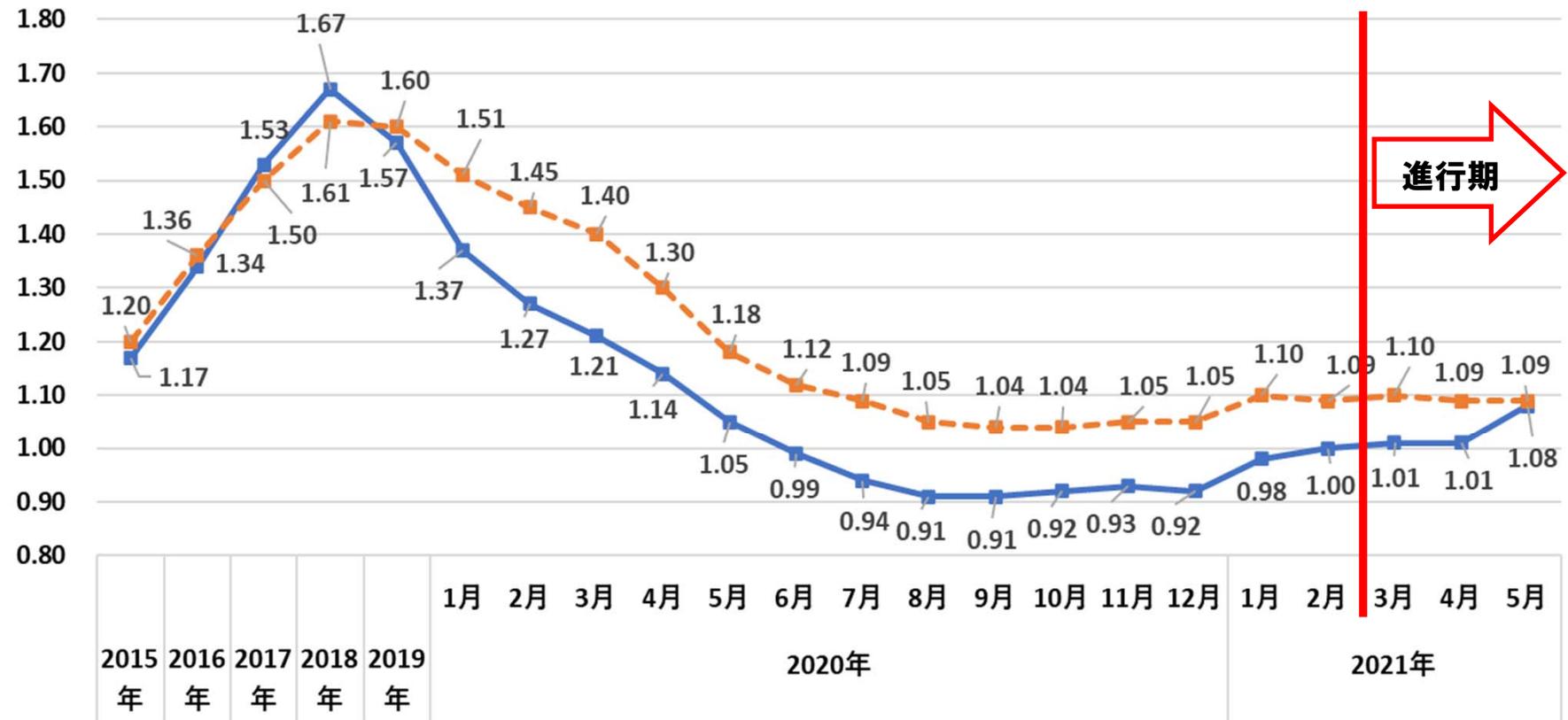
新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続もワクチン接種等により終息に向かう前提

有効求人倍率推移

(単位:倍)

■ 静岡県 - - 全国

出所: 静岡労働局 雇用労働統計より当社作成



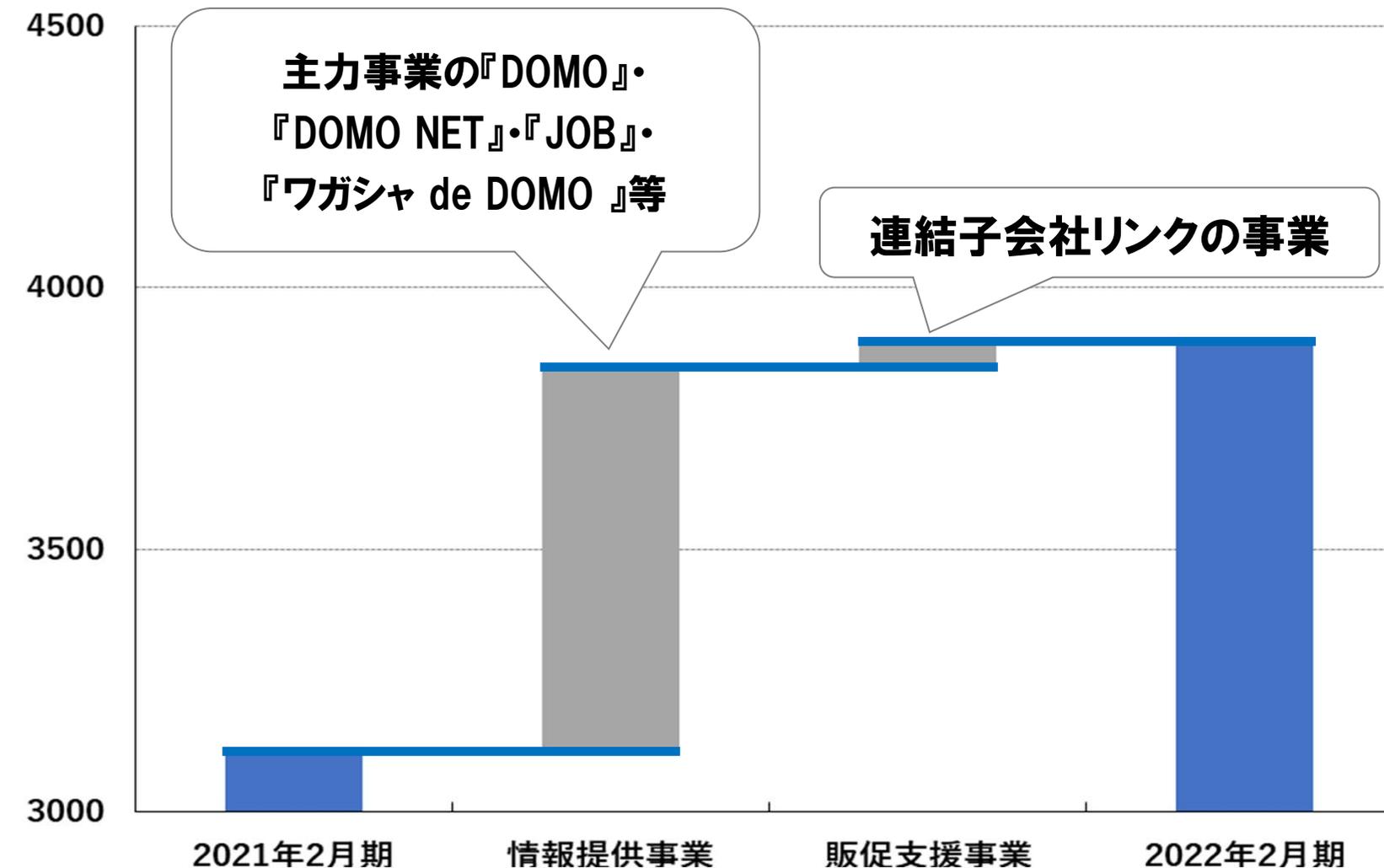
進行期

業績予想

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	2022年2月期		2021年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	3,886	100.0	3,100	100.0	785	25.3
売上原価	1,170	30.1	1,156	37.3	13	1.2
印刷費	285	7.3	277	8.9	8	3.0
労務費	128	3.3	172	5.6	△44	△25.9
その他売上原価	756	19.5	706	22.8	50	7.1
売上総利益	2,715	69.9	1,943	62.7	772	39.7
販管費	2,685	69.1	2,488	80.3	196	7.9
人件費	1,627	41.9	1,465	47.3	161	11.1
広告・販促費	495	12.8	398	12.9	97	24.3
流通費	86	2.2	98	3.2	△12	△12.3
その他販管費	477	12.3	527	17.0	△49	△9.5
営業利益	30	0.8	△545	△17.6	575	—
経常利益	14	0.4	△518	△16.7	532	—
税金等調整前	14	0.4	△562	△18.2	576	—
親会社株主に帰属する当期純利益	17	0.5	△500	△16.1	518	—
EPS	¥0.66		△¥18.96			

セグメント別売上高(内部取引消去前)

(単位:百万円)



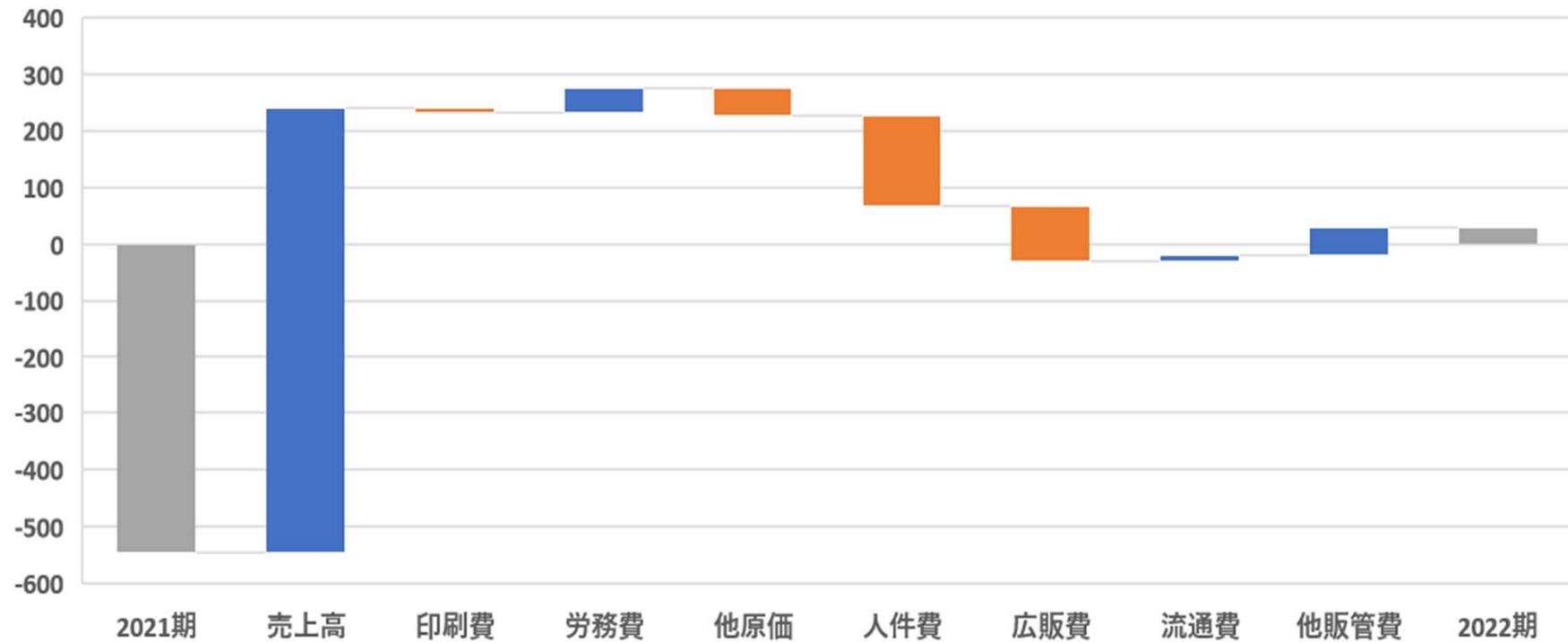
売上から営業利益までの内訳

売上増によるコスト増も事業所返還等による他コストの見直しを図る

営業利益増減要因

(単位:百万円)

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



重点施策

「ワガシャ de DOMO」の機能追加及び拡販施策の継続

- 自社メディアとのコネクト追加及び利便性の追求によるオプションサービスの開発・販売による差別化を図る
- 協業パートナーとの業務提携による販路拡大

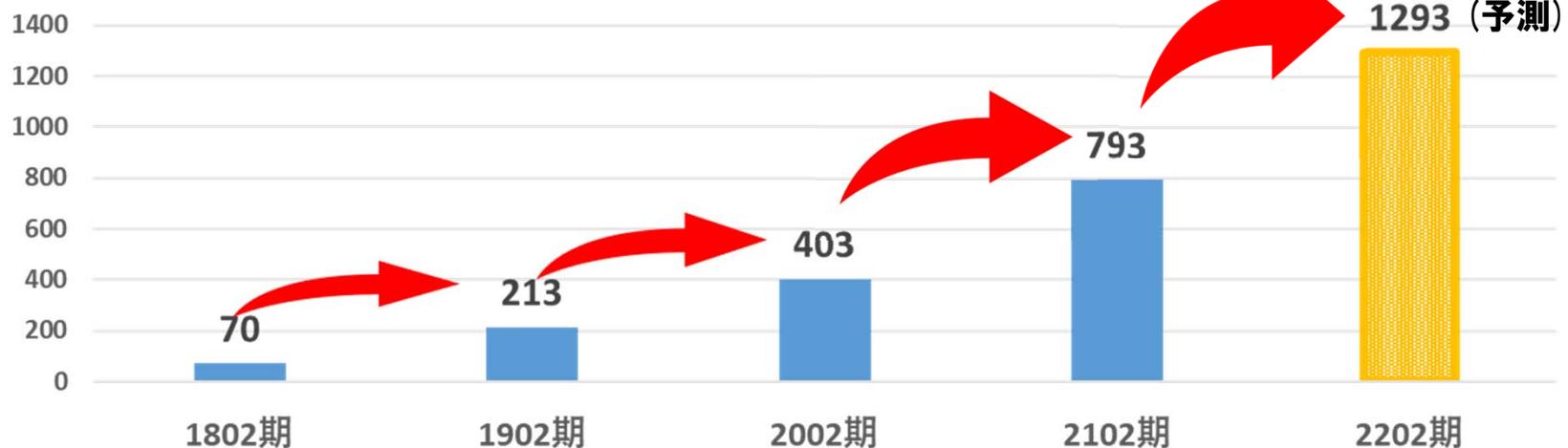
ワガシャ de DOMO!

自社専用の採用サイトを簡単に作成できる
採用管理システム(ATS)

(単位:百万円)

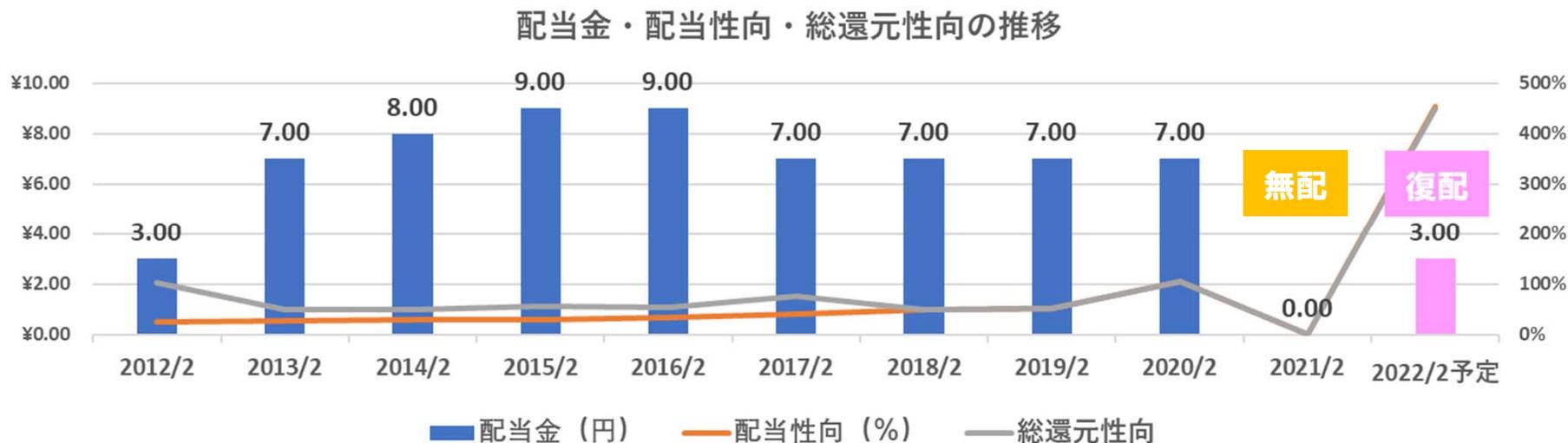
「ワガシャ de DOMO」売上推移

(内部消去取引前)



株主還元

黒字転換及び今後の事業展開や財務状況を勘案し、
次期は1株当たり3円の復配とさせていただきます。



当社グループは、中長期的な企業の競争力の強化と成長力の維持を可能とする投資を最優先事項と捉えています。そのため、内部留保金並びにフリー・キャッシュ・フローにつきましては、新規事業向けを中心とした投資に充当し、グループとしてのさらなる成長を図ります。

一方で、株主の皆様に対してはその投資によって得られた成果、つまり連結業績に連動した利益配分を行っていくこととし、具体的には連結配当性向50%を目処に配当を行う方針です。

2021年2月期においては、大幅な赤字転落したことを踏まえ、誠に遺憾ながら無配とさせていただきました。2022年2月期は黒字転換する見通しであり、今後の事業展開や当社の財務状況等を総合的に勘案した結果、復配の目処がついたものと判断されることから、2022年2月期につきましては、1株当たり3円の期末配当を実施する方針といたしました。

免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。



連絡先

株式会社アルバイトタイムス コーポレート本部 経営企画部

E-MAIL: ir@atimes.co.jp

HP: <http://www.atimes.co.jp>